

平成29年9月7日
於
府中市立教育センター

平成29年第9回

府中市教育委員会定例会議事録

府中市教育委員会

平成29年第9回府中市教育委員会定例会議事録

- 1 開 会 平成29年9月7日 (木)
午後2時00分
閉 会 平成29年9月7日 (木)
午後2時43分
- 2 議事録署名員
教育長 浅 沼 昭 夫
委 員 松 田 努
- 3 出席者
教育長 浅 沼 昭 夫 委 員 崎 山 弘
委 員 齋 藤 裕 吉 委 員 那 須 雅 美
委 員 松 田 努
- 4 欠席者
なし
- 5 出席説明員
教育部長 関 根 昌 一 文化スポーツ部長 五味田 公 子
教育部次長兼学務保健課長 堀 江 幸 雄 文化スポーツ部次長兼スポーツ振興課長 沼 尻 章
教育部副参事兼指導室長 伊 藤 聡 文化生涯学習課長 古 田 実
教育総務課長 志 摩 雄 作 文化生涯学習課長補佐 平 野 妙 子
教育総務課長補佐 遠 藤 公巳明 ふるさと文化財課長 江 口 桂
学校施設課長 山 田 英 紀 ふるさと文化財課長補佐 渡 辺 純 子
学校施設課長補佐 藤 原 英 行 スポーツ振興課長補佐 英 太 郎
給食センター所長 時 田 浩 一 図書館長 酒 井 利 彦
給食センター整備担当主幹 大 井 孝 夫 図書館長補佐 青 木 眞 輝
指導室長補佐 鈴木 正 憲 美術館副館長 須 恵 正 之
学校教育指導担当主幹 日 野 正 宏 美術館副館長補佐 志 賀 秀 孝
統括指導主事 田 村 貴代美
指導主事 棗 まゆみ
指導主事 田 中 繁 広
指導主事 三 好 紀 子
- 6 教育委員会事務局出席者
教育総務課係長 鈴木 紘 美
教育総務課主任 國 分 真 耶

議 事 日 程

第1 議事録署名員指名について

第2 会期決定について

第3 議 案

第39号議案

府中市文化財保護審議会委員の委嘱について

第4 報告・連絡

- (1) 市立小・中学校の校舎等における老朽化対策調査等について
- (2) 平成29年度日光林間学校実施結果について
- (3) 副校長等校務改善支援事業について
- (4) 「市民文化の日」の開催について
- (5) 第8回武蔵府中熊野神社古墳まつりの開催について
- (6) 第21回みんなのスポーツdayの開催について
- (7) 第4回ウォーキング大会「歩いて知ろうわがまち府中！」の開催について
- (8) 絵本だいすきおはなしキャラバンについて
- (9) 小学生のためのブックトーク「よむよむ探検隊」について
- (10) 布の絵本とさわる絵本について
- (11) 企画展「正宗得三郎」の開催について

第5 その他

第6 教育長報告

第7 教育委員報告

午後2時00分開会

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまより、平成29年第9回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第1、議事録署名員指名につきましては、本日の議事録署名員は、私のほかに松田委員にお願いいたします。

_____ ◇ _____

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第2、会期の決定でございますが、会期は本日1日といたします。

_____ ◇ _____

◎傍聴許可

○教育長（浅沼昭夫君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 傍聴の方に申しあげます。本日の第39号議案につきましては個人情報に記載されているため、資料の一部を省略してお配りしております。

_____ ◇ _____

◎第39号議案 府中市文化財保護審議会委員の委嘱について

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第3、第39号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（浅沼昭夫君） 説明をお願いします。

○ふるさと文化財課長補佐（渡辺純子君） それでは、第39号議案「府中市文化財保護審議会委員の委嘱について」ご説明申しあげます。

府中市文化財保護審議会は、府中市文化財の保存及び活用に関する条例に基づき、教育委員会に設置する附属機関でございます。委嘱を予定する委員の案につきましては、議案書に記載のとおりでございます。

本審議会の所掌事務でございますが、教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査・審議し、その結果を更新することとなっており、任期は平成29年10月1日から平成31年9月30日までの2年間、委員定数は10名以内となっております。

なお、委員は全て再任ですが、文化財の指定解除その他の指導を受ける必要から、高度な専門的知識と経験に基づき選任させていただきたいと考えております。

以上で説明を終わります。よろしくご審議くださいますよう、お願いいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） 事務局の説明が終わりました、何かご質問はございますか。

ご意見はございますか。よろしいでしょうか。

それではお諮りします。第39号議案「府中市文化財保護審議会委員の委嘱について」決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。

◇

◎市立小・中学校の校舎等における老朽化対策調査等について

○教育長（浅沼昭夫君） それでは日程第4、報告・連絡ですが、報告・連絡（1）を学校施設課、お願いします。

○学校施設課長補佐（藤原英行君） それでは、お手元の資料に基づき「市立小・中学校の校舎等における老朽化対策調査等について」、ご説明させていただきます。

初めに1の趣旨でございますが、本市の市立小・中学校の校舎、体育館及び武道場（以下校舎等と言います。）は、建築後40年が経過した建物が全体の半数を超えるなど、老朽化が進んでいることから、今後も安全・安心な児童・生徒の学習環境を確保するため、計画的に老朽化対策を行っていく必要があります。このことから、平成26年度から平成28年度までの3か年にわたり、校舎等の老朽化対策調査を行ったものでございます。また当該調査の結果を踏まえ、校舎の老朽化対策の優先度に応じたグループ分けを行ったものでございます。

続きまして、2の老朽化対策調査の概要といたしまして、（1）調査対象でございますが、学校の校舎等としております。なお、平成19年度以降に増改築した府中第十小学校、府中第三中学校、府中第五中学校の校舎等は除いております。

次に（2）調査結果といたしまして、初めに調査の項目でございますが、構造躯体及び意匠・設備の2項目としております。それぞれの調査の内容及び方法でございますが、構造躯体ではコンクリートの圧縮強度及びコンクリートの中性化について、コンクリートコアの採取により調査を行っております。意匠・設備では、機械設備、電気設備等の劣化状況について改修履歴の確認及び目視による外観調査を行っております。

調査の結果でございますが、コンクリートの圧縮強度では、ほとんどの建物で一定以上の強度は確保されていましたが、一部の建物で13.5ニュートンパー平方ミリメートル以下の強度（文部科学省が作成した学校施設の長寿命化改修の手引きにおいて、コンクリートの強度不足により長寿命化改修に適さないとされる強度）となっている状況が見受けられました。

次にコンクリートの中性化では、ほとんどの建物で建物外部の中性化は見られませんでした。一部の建物で中性化が3センチメートル以上進行している状況が見受けられました。

続きまして、仕上剤、機械設備、電気設備等の劣化状況でございますが、屋上、外壁及び内装では改修の有無などにより状況は異なりますが、半数程度の建物で経年による劣化が見受けられました。また、給排水などの機械設備では大規模な改修が未実施であることから、多くの学校で経年による劣化が見受けられております。

2ページをお開き願います。3の校舎の老朽化対策の優先度に応じたグループ分けの概要といたしまして、初めに（1）グループ分けの考え方でございますが、アといたしまして、校舎は増築などにより複数の建物によって構成されていることから、学校単位で分類を行うことといたします。

次にイとしまして、老朽化対策調査の結果における校舎の構造躯体及び意匠・設備の状況に加え、校舎の建築年数を考慮した総合的な評価を行い、早期改築着手校、1グループ及び2グループに分類いたします。

ウといたしまして、老朽化対策の優先度は早期改築着手校、1グループ及び2グループの

順としております。

次に（２）各グループの条件でございますが、ア次のいずれかの条件に該当する校舎を保有する学校を１グループといたします。（ア）として、建築後の年数が平成２８年度末時点で５０年以上経過している校舎を保有する学校。（イ）として、コンクリートの圧縮強度が１３．５ニュートンパー平方ミリメートル以下の校舎を保有する学校。（ウ）として、コンクリートの中性化が建物の外側から３センチメートル以上進行している校舎を保有する学校としております。

次にイとしまして、校舎の建築年数や構造躯体及び意匠・設備の状況を考慮し、早期に老朽化対策を実施する学校として、１グループに分類した学校から選定した２校を早期改築着手校といたします。ウとしまして、上記アの条件に該当しない学校を２グループといたします。

次に（３）グループ分けの結果でございますが、早期改築着手校の２校につきましては、八小及び一中としております。また、１グループにつきましては１０校、２グループにつきましては２１校に分類し、各グループの学校名については表に記載のとおりでございます。

次に４の今後の予定でございますが、（１）早期改築着手校につきましては、平成３０年度末に策定を予定する府中市学校施設改築・長寿命化改修計画（仮称）の作成と並行して、平成３０年度に校舎等の改築にかかわる基本構想の作成に着手することといたします。

（２）１グループ及び２グループにつきましては、今回実施いたしました老朽化対策調査の結果に加え、児童・生徒数の将来推計、教育環境、近隣の公共施設の状況等を踏まえ、総合的に判断した老朽化対策の優先度を府中市学校施設改築・長寿命化改修計画（仮称）において、必要な範囲で示してまいります。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまの質問につきまして、何かご質問・ご意見ございますか。

○委員（崎山 弘君） 老朽化対策の調査方法の中で、コンクリートコアの採取という方法をとっておられますけれども、各学校によってどういう基準で、何か所ぐらい選んだかというのを教えていただけるとありがたいです。

○学校施設課長（山田英紀君） 基本的には各回３か所をとっておりまして、躯体の部分で適当だろうというところを、各階層で３か所ぐらいを取りまして、その平均値を出して、今回この調査結果の中のコンクリート強度の結果として採用してございます。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにいかがですか。

○委員（齋藤裕吉君） 使われている用語で、理解できないのですけれども、コンクリートの中性化ということについて、もう少し具体的な説明をしていただけないでしょうか。

○学校施設課長（山田英紀君） コンクリートにつきましては、最初はアルカリ性になっておりまして、アルカリ性のコンクリートが空気中の酸素に触れますと中性化します。この中性化自体はコンクリートの強度には直接関係しないのですけれども、中性化しますと、コンクリートに守られている鉄筋が錆びやすくなります。

アルカリ性のコンクリートの場合、鉄筋は錆びませんが、中性化しますと、中に埋もれている鉄筋が錆びやすくなる。仮にそこに水分等が入って錆びると、鉄筋が膨張して爆裂するという現象が起きますので、中性化が進んでいるコンクリートにつきましては、場合によっ

ては鉄筋に錆びが入っている可能性があるという判断のもと、今回調査項目とさせていただいているところがございます。

○教育長（浅沼昭夫君） わかりました。よろしいですか。

ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（1）について了承をいたします。



◎平成29年度日光林間学校実施結果について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（2）を学務保健課、お願いします。

○教育部次長兼学務保健課長（堀江幸雄君） それでは資料2に基づきまして、平成29年度日光林間学校実施結果について報告いたします。

日光林間学校は小学校全22校の6年生を対象に、7月23日から8月10日の間に実施いたしました。

参加状況でございますが、参加児童数は2,048人で、在籍数2,072人に対しまして参加率は98.8%でございます。前年度と比較して0.1%高い参加率となりました。

裏面をご覧ください。参加状況でございますが、24人の児童が不参加となっております。不参加の理由といたしましては、海外ホームステイ、アメリカンスクール在籍、帰省、学校不適應などによる家庭の事情が11人、体調不良が8人、校外のスポーツ活動への参加が4人、忌引が1人でございます。

実施期間中、児童に大きな事故やけが等はございませんでしたが、発熱などにより4人が日光市民病院等で診察を受け、うち1人が保護者とともに途中帰宅。また1人が最終日に発熱し、午後まで病院で休養した後、保護者とともに帰宅しております。

報告は以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） 何かご質問・ご意見はございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（2）について了承いたします。



◎副校長等校務改善支援事業について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（3）を指導室、お願いします。

○教育部副参事兼指導室長（伊藤 聡君） 私からは、副校長等校務改善支援事業についてご報告いたします。資料は、副校長等校務改善支援事業報告書（案）でございます。

本事業は副校長を始め教職員の長時間労働の実態を背景として、平成27年度より各学校へ支援員を配置し、副校長を始め教員の事務負担軽減を図ることにより、児童・生徒の知・徳・体のバランスのとれた生きる力をより一層育むことを目的として、府中市が国や東京都に先駆けて開始いたしました。

本事業の開始に当たっては3年間の期限付事業とし、この間の成果と課題を明らかにした上で本事業の継続の可否について判断することとしていたことから、3年目に当たる本年度に副校長等校務改善支援事業報告書を作成したものです。なお、本報告書は府中市立小中学校校長会及び副校長会の協力を得て作成いたしました。

報告書の概要について簡単に説明いたします。

報告書の6ページをご覧ください。本事業によって配置された支援員は、主に文書の印刷

や配布、出勤簿の整理、休暇処理簿の管理補助などの職務に当たることで、副校長の職務の軽減に大きく貢献しました。

続いて、報告書4ページをご覧ください。副校長は、このことで生み出された時間を教員の授業観察や若手教員の人材育成、PTAや地域との連携に活用しており、ただ単に負担軽減されただけでなく、学校経営に直結した副校長の本務に時間を割くことができました。本事業の当初の目的を達成する成果が得られたと認識しております。

報告書8ページをご覧ください。課題といたしましては、副校長に対する支援が81.3%と大部分を占めている一方で、教員への支援は6.2%にとどまっており、教員への支援が十分な状況には至っていないという点でございます。

今後本事業により、「チーム学校」を現実のものとしていくとともに、教員の働き方改革が叫ばれる中、教員への支援を拡充し、教員が児童・生徒と向き合う時間を一層確保することで、多忙感を解消していくことが期待されることから、本事業をさらに拡充してまいりたいと考えております。

また、東京都でも同様の動きがあると聞いておりますので、今後の動向に注視し、都の事業とも調整しながら進めてまいります。

私からは以上です

○教育長（浅沼昭夫君） この件につきまして、何かご質問・ご意見はございますか。

齋藤委員、お願いします。

○委員（齋藤裕吉君） この校務改善支援事業、大変効果のある事業だろうと思います。あらかじめ資料を読ませていただきましたが、さまざまな成果が上がっているということがわかります。

このような支援とともに、特に最近、学校の業務が非常に多くなってきていると言われているわけですが、本来の業務は当然あって、これが中心になりますが、本来の業務と思われるかどうかというものが増えてきていると思うのです。

これは意見ですけれども、そういう点で、言ってみれば本来の業務からは離れた業務をなるべく増やさない、減らすという検討。これは教育委員会だけではなく、学校現場も合わせて、どうすれば学校の中の仕事が適正な状態になるかを考えながら進めていく。つまり、本来の業務ではない仕事をなるべく削るということをしなが、加えて校務改善の支援をしていくという、2つ合わせてやっていかないといけないと思います。

効果があるのはよくわかりますので、今後ともぜひ今言ったような観点で、学校の中の業務が適正に進められるように支援していきたいものと思います。

以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

崎山委員、お願いします。

○委員（崎山 弘君） この府中市独自の事業として始めて、先ほど説明もありましたけれども、副校長先生が本来やるべき仕事、授業観察とか、若手人材の育成とか、そういうところに時間を費やすことができるようになって、3年間の結果、非常によい成果が出たなど、うれしく思っております。

ただ、聞くところによりますと東京都も同じような事業を始めると伺ったことがあるので

すが、東京都の事業と府中市の事業に何か関係みたいなものがもしあれば、教えていただきたいのですが。

○教育部副参事兼指導室長（伊藤 聡君） 東京都では、今年度よりモデル事業を実施していると聞いておりますが、東京都の場合は副校長補助という形で、副校長に限った支援になっているということで、そのあたりが府中市の事業とは若干違うところだと認識しております。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにかがででしょうか。

那須委員。

○委 員（那須雅美君） 私からも意見になってしまいますけれども、学校支援員がずっとその学校の支援員として従事し続けるというところで、副校長先生が異動等で替わる度に、新しい副校長先生は、その支援員の仕事のことを把握しなければならないという認識がだんだん薄れてきて、その支援員しか業務を知っている人がいない。支援員だけが、その学校の中で唯一その仕事を知っている状況に陥ることが現状でも見られます。あくまでも支援員は臨時の補助員であるので、仕事そのものの中身や、やり方等を副校長先生が、新しい方に替っても把握していただけるようにご指導いただければと思います。

○教育部副参事兼指導室長（伊藤 聡君） 委員のご指摘のとおり、そういう危惧もあるところですので、十分その辺に配慮しながら、本事業を適正に進めていきたいと思っております。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。

それでは、ご意見等もいただきましたけれども、この報告・連絡（3）について了承いたします。



◎「市民文化の日」の開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 続きまして、報告・連絡（4）を文化生涯学習課、お願いします。

○文化生涯学習課長補佐（平野妙子君） それではお手元の資料4に基づき、「市民文化の日」の開催についてご報告いたします。

「市民文化の日」は、市内の文化施設を無料で開放するなど、市民が文化・芸術に親しみやすい環境づくりを進めるため、平成26年の市制施行60周年を機に、10月の第2日曜日に設定いたしました。

今年度は郷土の森博物館・美術館を無料で開放するほか、ふるさと府中歴史館、生涯学習センターや、今年度末に閉館を迎えます府中グリーンプラザを含む文化スポーツ部所管の各施設において、また都立府中の森公園にもご協力いただき、パンフレットに記載いたしました9つの施設を会場といたしまして、各種イベントを実施いたします。

また「市民文化の日」に限り、施設内レストランなどで無料提供や割引が受けられるサービスのほか、今年度の取組といたしまして、例年開催しておりますスタンプラリーにご参加いただいた方が、3か所以上のスタンプを集めていただきますと、文化施設のマスコットキャラクターが入りました市民文化の日オリジナル缶バッジをプレゼントいたします。

委員の皆様には、ぜひご来場いただきたくご案内申し上げます。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） この件につきまして、何かご質問・ご意見ございますか。よろし

いですか。

それでは、報告・連絡（４）について了承いたします。



◎第8回武蔵府中熊野神社古墳まつりの開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（５）をふるさと文化財課、お願いします。

○ふるさと文化財課長補佐（渡辺純子君） それではふるさと文化財課から、第8回武蔵府中熊野神社古墳まつりについて、資料5に基づきご報告いたします。

全国で類を見ない、最大規模で最古の上円下方墳である熊野神社古墳は、熊野神社古墳保存会のホームページなどでの周知も進める中で、古墳まつりにつきましてもますます注目を集めております。この古墳まつりは、同古墳保存会を中心に周辺の自治会や市民団体等のご協力により、2日間にわたって開催されます。

第1日目は10月7日土曜日の午後5時から8時までで、前夜祭として古墳のライトアップや、灯籠やたいまつで浮かび上がるステージでのコンサートなどを実施し、第2日目は8日日曜日の午前10時30分から午後4時までで、雅楽に乗せた古墳パレードや、全国的に有名な府中東高校の和太鼓の演奏のほか、本宿小学校、第五小学校のご協力による合唱等の出演、またぬりえコンクールなど、さまざまな催しを実施いたします。当日は小雨決行で実施いたします。古代の息吹を感じる古墳まつりに、ぜひお越しいただきたくご案内申し上げます。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） 何かご質問・ご意見ございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（５）について了承いたします。



◎第21回みんなのスポーツdayの開催について

◎第4回ウォーキング大会「歩いて知ろうわがまち府中！」の開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（６）（７）を一括してスポーツ振興課、お願いします。

○スポーツ振興課長補佐（青木達也君） それでは、スポーツ振興課より2件一括してご報告いたします。

初めに、第21回みんなのスポーツdayの開催につきまして、お手元の資料6に基づきご報告いたします。

本イベントは、10月9日の体育の日にふさわしく、多くの市民がスポーツに親しむきっかけとなるよう、各地域体育館におきましてニュースポーツに触れていただく機会を提供するほか、特別企画を開催いたします。

チラシの裏面をご覧ください。記載がございますとおり、各地域体育館ではラリーテニス等ニュースポーツを実際に体験できるコーナーを設置するほか、特別企画といたしまして、出演団体のご協力のもと、ダンスや新体操などの演技を披露していただく予定となっております。

このみんなのスポーツdayは、スポーツ推進委員と各地域体育館の運営協議会委員との共同により企画・運営しており、各地域館でそれぞれ特色のある内容となっております。ま

た、今年度は東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成と、障害のある方に対するスポーツ活動への円滑な導入及び継続的な活動を支援するための環境づくりを目指し、全館でパラリンピック種目であるボッチャの体験コーナーも設置いたします。

なお、参加費は全ての地域体育館におきまして無料となっておりますので、委員の皆様にもお近くの会場まで足をお運びいただきたく、ご案内申し上げます。

続きまして、第4回ウォーキング大会「歩いて知ろうわがまち府中！」の開催につきまして、資料7に基づきご報告いたします。

本大会は、11月26日（日）にFORIS前をスタート及びゴール地点として、市内の名所・旧跡などをめぐるウォーキングイベントとして開催いたします。

コースは子どもから高齢者まで、誰もがそれぞれの体力等に合わせた参加できるよう全部で5つ設定しており、長い順に約20キロ、13キロ、9キロのコースと、2種類の6キロコースとなっております。

このうち9キロのコースは、ポールウォーキングコースとして、インストラクターとともにポールを使用しながらウォーキングを、また6キロのコースのうち1つは、ガイドコースといたしまして、観光ボランティアとともに観光ガイドを受けながらウォーキングできるコースとなっております。

本イベントを機会に府中の魅力あるスポットを再発見していただくとともに、参加者の健康増進や、スポーツ活動のきっかけづくりになることを考えております。

なお、事前申込エントリー期限は10月20日（金）までとなっておりますので、委員の皆様にもご参加いただきたくご案内申し上げます。

以上でございます。

○**教育長（浅沼昭夫君）** ただいまの2件、ご質問・ご意見ございますか。

○**委員（松田 努君）** 7のウォーキング大会の意見と質問なのですが、健康づくりの観点から誰もが手軽に始められるものの1つとして、ウォーキングというのはすごくよいと思うので、いろいろなコースがありますので、このように工夫していただいて、ぜひ継続していただいて、たくさんの参加者があればいいと思います。

質問ですが、右上に「日本市民スポーツ連盟公認国内大会」と書いていますが、どうやったら認定されるのか。また、これは認定されたら何かいいことがあるのかを教えてください。

○**文化スポーツ部次長兼スポーツ振興課長（沼尻 章君）** ウォーキングコースの認定書でございますけれども、当日それぞれのコースを完走された方に表彰状を出します。ですので、認定書を記録書としてお渡しするという程度にとどまっております。途中何か所に寄っていただくポイント等がありまして、そちらでスタンプを押していただきながら、完走を認める内容になっているものでございます。

○**教育長（浅沼昭夫君）** 何か得になることはないかという質問でしたけれども、それを持つことによって何か特典や、名誉等がありますか。

○**文化スポーツ部次長兼スポーツ振興課長（沼尻 章君）** 今手元に資料がございませんので、公認認定書を何種類も集めると何かもらえるという情報は、私のほうには入っておりませんが、皆様方にはそういったものが参加意識、意欲に役立っていると言いますか、

啓蒙目的で認定書を出しているという認識でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。

○委員（松田 努君） 質問の仕方が悪かったのですが、この大会がどうやったら「日本スポーツ連盟公認国内大会」に認定されるのか。また、認定されると、例えばこの大会に箔がつくとか、そういったことがあるのかということだったのですけれども。

○文化スポーツ部次長兼スポーツ振興課長（沼尻 章君） まず今回、コース設定しておりますコースを、事前にこの連盟に届け出を出しまして、そこで認定されたコースということになっております。認定書をいただいて公認しておりますので、市外の方の参加も府中の魅力発信ということでは、市内市外に発信しようということでこちらの認定書をとっておりますので、市外者のお申込み、エントリーも多数いただいているところでございます。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（6）と（7）について了承いたします。



◎絵本だいすきおはなしキャラバンについて

◎小学生のためのブックトーク「よむよむ探検隊」について

◎布の絵本とさわる絵本について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（8）から（10）まで一括して図書館、お願いいたします。

○図書館長補佐（青木眞輝君） それでは、図書館から資料8から10に基づき、一括して3件ご報告いたします。

本市では、第3期府中市子ども読書活動推進計画におきまして、10月を子どもの読書月間と定め、さまざまな事業を行っております。本日はそれらの事業についてご報告いたします。

まず1点目といたしまして、お手元の資料8の「絵本だいすきおはなしキャラバン」についてご報告いたします。

市内のおはなしボランティアグループ「絵本だいすき」が、図書館以外の会場で、1・2歳児とその保護者を対象に、手遊びや絵本の読み聞かせ等を行い、楽しいひとときを過ごし、親子のふれあいや絵本の楽しさを体験していただくものでございます。日程と会場につきましては、資料のとおりでございます。

続きまして資料9の、「小学生のためのブックトーク『よむよむ探検隊』」についてご報告いたします。

中央図書館で小学4年生から6年生を対象に、テーマで集めた本を紹介するブックトークを開催しております。1回目は「あったらいいなこんなちから できたらいいなこんなこと」をテーマに、楽しく紹介してまいります。

日時は、「市民文化の日」である10月8日日曜日、午後3時から3時45分まで。中央図書館3階児童コーナーにあります「おはなしの部屋」で開催いたします。また、2回目は12月16日土曜日、3回目は年が明けました2月17日土曜日を予定しております、それぞれ違うテーマで開催いたします。

定員は30人、事前の申込みは必要ございません。当日、直接会場へお越しただいであります。「広報ふちゅう」やホームページへの掲載、小学校でのチラシの配布等を行い、周知を図ってまいります。

最後に、資料10の「布の絵本とさわる絵本」についてでございます。第3期府中市子ども読書活動推進計画において、子どもと本との出会いの機会の提供の中で、障害のある子どもの読書についても推進しております。その1つに、布の絵本とさわる絵本の整備・活用も図っており、子どもの読書月間の10月に、府中市立心身障害者福祉センターきずなで絵本の展示と、ご案内のチラシの配布を行うものでございます。

日程につきましては、9月29日金曜日から、10月31日火曜日まででございます。機会がございましたらお立ち寄りいただきたく、ご案内いたします。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまの3件につきまして、ご質問・ご意見はございますか。よろしいですか。それでは、報告・連絡（8）から（10）までについて了承いたします。



◎企画展「正宗得三郎」の開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（11）を美術館、お願いします。

○美術館副館長補佐（志賀秀孝君） 資料11に基づき、企画展「正宗得三郎」についてご報告申し上げます。

今週9日土曜日から10月22日まで、秋の大型企画展としてフィンランド・デザイン展を開催いたしますが、これに引き続きまして、11月3日より正宗得三郎展を開催いたします。

正宗得三郎は岡山県出身で、文学者の正宗白鳥の実弟です。東京美術学校に学び、そこでは学友の天才画家・青木繁から絵画への情熱を学びました。また、2度の渡仏でモネやマチスから、直接絵の明るさを学びました。戦中は、疎開先の長野県の飯田市で豊かな自然と親しみ、戦後は府中に住み、没するまで府中の緑をこよなく愛しました。

この自然観察と、南画家・富岡鉄斎の作品研究を通して、西洋画と南画を融合させ、独特の画風を生み出しました。多くの画家に影響を与えた、府中ゆかりの画家でございます。

会期は11月3日から12月28日まで。開館時間、休館日、観覧料は記載のとおりです。ぜひ、フィンランド展とあわせご来場くださいますようお願い申し上げます。

○教育長（浅沼昭夫君） この点につきまして、ご質問・ご意見はございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（11）について了承いたします。



◎その他

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第5、その他ですけれども、何かございますか。

○委員（那須雅美君） 新しく給食センターがオープンして、稼働が始まって1週間弱経ちますが、今のところ何か運用上で問題、あるいは思ったよりも子どもたちの反応がよかったとか、何かありましたらご報告願えますでしょうか。

○給食センター整備担当主幹（大井孝夫君） 新給食センターにつきましては、8月30日

にプレ給食を行いまして、9月1日から本格稼働ということで進めております。

始まった当初は、いろいろ不安な部分もあったのですが、8月30日はプレ給食ということで、配達の流れ等も若干ございまして、全体的に10分ぐらい予定時刻より遅れてしまうというところがあったのですが、そちらを参考にして、9月1日には予定どおり出すことができています。

その後、大きな遅れ等問題点はなかったのですが、本日新しい献立を作りましたところ、到着が遅れてしまったという事例がございましたので、そこは現場と動線等の確認をし、明日も同じ献立を出しますので、十分問題を確認していきたいと思っています。

学校のいろいろな評判を聞いておりますと、ご飯が非常においしくなったというご意見をいただいております。結構力を入れてつくったところでございますので、安心しているところでございます。またおかずについては、これからいろいろ新しく入れました調理器具を利用し、新献立にも取り組むなど、よりおいしいものをつくっていきたくて考えているところでございます。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。

センターの担当の方も、かなり時間等工夫しながら、時間に遅れないように頑張っているという報告を私も受けています。

よろしいでしょうか。その他ございますか。

◇

◎教育長報告

○教育長（浅沼昭夫君） それでは日程第6、教育長報告に移ります。

活動状況につきましては、別紙の平成29年第9回教育委員会定例会、教育委員会活動報告書のとおりでございます。なお、この報告書は平成29年8月12日から29年9月1日までの活動内容となっております。

私からは特段の報告はございません。以上です。

◇

◎教育委員報告

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第7、教育委員報告に移ります。活動状況につきましては別紙のとおりでございます。

まず崎山委員、お願いします。

○委員（崎山 弘君） 8月24日、新給食センターオープニングセレモニーに臨席した後、府中市美術館企画展「ぱれたん動物園」と、府中市郷土の森博物館企画展「あしもとネイチャーワールド オレたち夏のキラ（KILLER）われ者」を見てまいりました。

「ぱれたん動物園」は毎年恒例のものですが、ただ絵画を見るだけでなく、素材に触ってみる、絵を描いてみるという機会が用意されていて、楽しそうに絵を描いている親子の方も多数おられ、夏休みに子どもたちに美術に触れてもらうためには好ましい企画と思いました。

また、館長が自ら書かれた楽しいイラスト風の作品もありましたが、このような機会に学芸員の自己紹介も含め、学芸員の皆様が何か1つ作品を展示するのも、市民と美術館をつなぐ意味でおもしろいと思った次第です。

府中市郷土の森博物館企画展は、子どもたち以上に一緒に来ているお母さんたちがゴキブ

りやネズミの姿にキヤーキヤー言いながら見ているところから、確かに嫌われ者だと感じました。

1つ気になったのはヒトスジシマカの展示で、その説明文章に「菌を運ぶので要注意だな」とありました。人を刺す蚊が媒介する病気として、日本脳炎、デング熱が有名ですが、いずれも病原体は菌、つまり細菌ではなくウイルスです。小学生レベルでは細菌とウイルスの区別は難しいかもしれませんが、科学的な表現として正確にウイルスと記載したほうがよかったと思いました。

8月26日に、青少年音楽祭「合奏の部」を鑑賞しました。参加された各学校の演奏は、この日に向けて夏休みに一生懸命練習した様子がうかがえる大変すばらしいものでした。指導していただいている先生方の苦勞が報われるひとときだったのではないかと思います。8月の土曜日の子どもたちを引率されてきた先生方にも感謝いたします。

ただ1つ残念なのは、自分の出番が終わって帰ってしまう学校が目立ったことです。発表することと同じように、他の演奏者のよいところを鑑賞することも大切です。遅い出番の人たちが遅れて参加することはありません。皆さんお忙しいとは思いますが、最後まで仲間の演奏を見届けることが望ましいと思いました。

以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

続いて齋藤委員、お願いします。

○委員（齋藤裕吉君） 私からは、8月24日に行われました新しい給食センターのオープニングセレモニー、これに参加しての感想を述べたいと思います。

1日最大で2万2,000食を調理できる日本最大の学校給食調理施設ということで、すばらしいものができたと思いました。2学期から供用が開始されているわけでありまして、子どもたちもきっとおいしく味わってくれていることだろうと思います。ここに至るまでの長い期間にわたる周到な準備、これを進めてこられた関係者の皆様のご尽力に心から敬意を表したいと思いました。

おいしく、栄養があって、衛生上も十分な配慮がなされた学校給食、これが実施できるというすばらしい施設のオープンとなったわけですが、これからの運用がさらに大事だと思います。

食物アレルギー対応や食品衛生管理上の問題は、この施設の中では完璧であるとしても、施設の外での問題やリスクをいつも考えて、関係業者や学校との連携も十分に行うことが大切であろうと思います。

すなわち、センターに入ってくる前の原材料や加工品の衛生管理や、調理した食品を学校での給食として実施する際の適切な対応、子ども1人1人の食物アレルギー実態等を把握した上での、きちんとした給食指導や衛生管理というものが非常に大切になってくると思われます。

食物の流れの中での、給食センターに入ってくる前と各学校に運ばれた後にも十分に気を配るということについては、特に調理数が大規模になった分、今後一層気を引き締めて給食事業を推進していくべきだと思った次第でございます。

私からは以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

那須委員、お願いします。

○委員（那須雅美君） 青少年音楽祭を鑑賞しての感想を述べさせていただきます。

合奏・合唱どちらの部門も、小学生から中学生、高校生と、上級学校になるにつれ演奏技術の迫力も増し、子どもたちの成長を見ることができました。演奏も合唱もそれぞれの学校の特色が出ていて、とても聞き応えがありました。

青少年音楽祭ということですが、出演団体には昔、青少年世代だった方々も多くおられ、そういう団体を小学生等と同じくくりで出演していただくことには、正直少し違和感を覚えました。ご出演いただくなら賛助演奏や招待演奏など、少し区別があってもいいのではないかと考えました。また、青少年ということなので、市内にある大学の演奏団体にも市からの働きかけを行い、参加いただけるようになれば、さらによい音楽祭になると感じました。

活動報告書には記載しませんでしたでしたが、8月27日に府中駅南口ル・シーニュ内プラッツの会議室において開催されていた府中第六中学校華道部の生け花展に参りました。昨年度の府中第六中学校の周年式典の際、華道部員の手による舞台上の装飾花がすばらしかったことを思い出しながら拝見いたしました。

日ごろご指導いただいている外部指導員の先生が会場におられたのでお聞きしたところ、ふだんの練習に使うお稽古のお花は少しでも安くていいものをとの思いで、ご自身が車を運転し、安い生花店を周り購入いただいているとのことでした。本当にありがたいことです。

この府中第六中学校の華道の先生に限らず、青少年音楽祭に出場していた学校なども外部指導員のお世話になっていることと思います。教育委員会としては、学校がこのような地域の方々のご協力が得られるような体制を、引き続きしっかり整えていかなければならないと感じた次第です。

以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

松田委員、お願いします。

○委員（松田 努君） 8月27日市民体育大会夏季大会「水泳競技」に参観しました。滝のプールでの汚水の影響が心配されましたけれども、無事に開催することができてよかったです。主催された関係者の皆様は大変だったと思います。大変お疲れさまでした。

私の中では競技用プールは、普段一般に開放しているときは少し深いだけ、または泳ぐ方向も横という印象しかなかったのですが、コースがしっかりできて、タイマーなどが設置されると立派な水泳会場になるものだと思います。

たくさんの種目がある中、各種目の入賞者には賞状とメダルを授与するということで、準備は大変だと思いますけれども、選手にとってはうれしいことだと思います。オリパラ関連としても、もっと水泳大会を盛りあげていただきたいと感じました。

以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

それでは、これで平成29年第9回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。



午後2時43分閉会

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証
するため、ここに署名する。

平成29年11月16日

府中市教育委員会教育長

浅沼 昭夫

府中市教育委員会委員

松田 努